

【報告事項1】 令和3年度事業報告の件

令和3年度事業報告（抜粋）

令和3年4月1日～令和4年3月31日

I 概況

南越法人会（以下「本会」という。）は、昭和35年6月の創設以来、税のオピニオンリーダーとして税制はもとより、政治・経済の動向に的確に対応しながら地域の振興及び企業の発展に尽力し、公益社団法人に相応しい活動へと精進してきた。

我が国の社会経済を取り巻く環境は、大規模自然災害の多発や新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の変異株の拡大、さらには地政学的なリスクの高まりなど、困難な課題が多発しており、極めて厳しい状況に突入したとの印象がある。このような中、「税」に軸足を置いている本会活動に当たっては、持続可能な社会の維持と税の関係にも配慮しながら、魅力ある事業となるよう努め、特に、コロナの影響による混乱からの回復を最優先とする共通認識を持ち、開かれた法人会として取り組んできた。

本会の親会と部会の主要な活動においては、規模の縮小が見られたものの、会員、役員はもとより、税務及び教育関係機関並びに諸団体から格別の御理解と御支援を賜り、以下に掲げるとおり、取り組むことができた。

II 事業報告

1 適正な申告・納税を普及、推進する事業（公益事業1）

(1) 税知識の普及・推進事業

「決算期別申告講習会」及び「新設法人説明会」は、コロナの影響を受けて5月と7月の開催は見合わせた。

○決算期別申告講習会

実施2回 参加27社・30名（講師 武生税務署職員） 会場 武生商工会館

○新設法人説明会

実施1回 参加4社・5名（講師 武生税務署職員） 会場 武生商工会館

○税務研修会

月 日	参加者	講 師（会場）
8月26日	41名	講師：金沢国税局 消費税課 明神軽減税率制度係長 演題：「早わかり 適格請求書等保存方式」（武生商工会館）
10月01日 県青連研修	8名	講師：元陸上オリンピック選手 為末 大氏 演題：「領域を越え 変化し続ける ～禅とハードル～」 (ニューサンピア敦賀)
10月14日 県女連研修	22名	講師：奥越法人会女性部会、飯田美奈子氏 演題：事業活動、魅惑のコンサート (勝山城博物館)

○セミナー・・・青年部会、女性部会

月 日	参加者	講 師（会場）
11月02日	21名 (税務署2名)	講師：武生税務署 近藤佳奈恵署長 演題：「霞が関と女性活躍」 (武生商工会館)
12月20日	15名 (税務署2名)	講師：社会保険労務士 小玉隆一氏 演題：「社長のためのハラスメント予防とメンタルヘルスへの対応」 (サバエ・シティーホテル)

【報告事項1】 令和3年度事業報告の件

(2) 税関係図書の頒布

会員への情報提供、研修用及び事務局備え付けとして、全法連幹旋図書及び業者幹旋図書を活用している。主な購入図書は次のとおりである。

- * 令和3年度税制改正のあらまし
- * 令和3年度版会社の決算・申告の実務
- * 令和3年度版会社の税金ガイドブック
- * 中小企業者のための [消費税]インボイス導入の準備ガイドブック
- * 令和3年度知っておきたい ぐらしの税金ガイド
- * ぐらしの豆知識
- * 最新 自社株対策のポイント
- * 事業承継はじめの第一歩
- ほか多数

(3) 納税意識の高揚事業

小学6年生を対象とした租税教育活動は、「自らが税金の仕組みや税金の使い道を考えて行動できる大人になってほしい」との願いから、武生税務署、各市町の租税教育推進協議会（会長は各首長）及び教育委員会などと連携して実施した。

なお、『持続可能な社会を考える新しい環境問題』（全4巻）の図書1セットを全小学校（42校）に寄贈。

ア 租税教室開催（小学6年生対象）・・・青年部会

小学校7校（宮崎、常磐、北新庄、武生東、大虫、立待、鳥羽の6年生合計316名）で11回実施。租税教室終了後にアンケート実施。

《アンケート回答303名》

税に興味・関心を持ったか			税の大切さが分かったか			
持った	まあまあ持った	持てなかった	分かった	少し分かった	あまり分かった	分からなかった
(65.3%) 198名	(33.7%) 102名	(1.0%) 3名	(95.4%) 289名	(4.6%) 14名	0名	0名

* 租税教室後の感想（抜粋）

表現内容は異なるが、多くの児童に共通していた内容は次のとおりである。

- ◎ 税金はすごく大切（大事）で、もし無くなると大変なことになることが分かった。
- ◎ 税金のない世界をDVDで見て、いろんなことが初めて分かった（内容は様々）。
- ◎ 税金について興味を持ったので、いろいろと調べたい（もっと知りたい）。
- ◎ 税金が教育費に沢山使われていること。
- ◎ 税金はすごい。
- ◎ 自分達にできる節税（学校の備品などを大切に使う、ゴミを減らすなど）に気が付いた。
- ◎ 租税教室は分かりやすく、面白かった。
- ◎ 投票に関すること（税の使い方などを考えて投票したいなど）
- ◎ 税金を払っている人、働いている人たちへの感謝の気持ち

※ DVD：「マリンとヤマト 不思議な日曜日」（企画：国税庁）

※ その他、租税教室に対する感想文は別紙資料のとおりです。

イ 税に関する絵はがきコンクール（小学6年生対象）・・・女性部会

管内42校に対して募集を行い、31校、1,260名の応募。応募作品については2回の審査会を実施し、優秀作品、佳作、入選及び学校賞などを選出した。今年度の作品の特徴は、コロナの影響から医療等に対する感謝や困っている人などへの税の使い方に関係する作品が多い。

なお、優秀作品14名と学校賞9校に対する表彰式は中止（3年連続で中止）とし、税務署の協力も得ながら佳作、入選及び参加賞等と一緒に直接学校へ持参した。

【報告事項1】 令和3年度事業報告の件

《主な取組》

実施時期	内 容
8月25日	女性部会理事会：取組方針等の確認
10月05日	後援・協賛の協力依頼
11月10日	募集活動（応募締切1月18日）
1月24日	第一次審査：応募作品31校 1,260点（157点審査通過）
1月28日	最終審査（157点から各賞を選定） 武生商工会館 13:30～ 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞13点、佳作32点、入選111点 学校賞9校（朝日、河和田、国高、神明、惜陰、南条、南中山、豊、吉野） 審査員25名
2月～	表彰状、副賞等の準備 《参考》 副賞：優秀賞は図書カード、図書 佳作と入選はノート、蛍光ペン2本（佳作は定規をプラス） 参加賞（応募者全員）：2B鉛筆2本、消しゴム、クリアファイル 学校賞：サッカーボール4号2個・・・学校名入り 学校参加賞：バスケットボール5号応募クラスに1個
3月上	表彰状、副賞等を学校へ持参 作品及びポスター展示
3月中	後援団体及び各小学校等へ礼状

(4) 税のキャンペーン

税に関するキャンペーンは、広く税に対する理解を深め、また、円滑な税務行政の執行に寄与することを目的に、関係機関の協力の下で実施した。

ア 事業所対抗ボウリング大会・・・厚生委員会

恒例のこの事業は、心身の健康増進と異業種交流等が図られるよう呼び掛けて実施し、コロナ対策上、恒例の税金クイズは問題と解答の配付にとどめた。

イ 映画上映会兼確定申告早期提出キャンペーン・・・青年部会

今年のキャンペーンは、コロナの影響からこれまでの招待130組（前年度100組）を70組に減らして募集。当日は、武生税務署から幹部の支援を受けて国税関係と青年部会関係の資料等を配付。恒例の「税金クイズ」は中止し、代替措置として税務署提供の中学生対象の租税教育用動画『暮らしを支える税を学ぼう』（国税庁Web-TAX-TV）を上映した。

《確定申告早期提出キャンペーン》

月 日	内 容	参加（会場）
3月02日	・確定申告関係の資料配付 ・青年部会の租税教育活動紹介と動画放映 ・映画「WEST SIDE STORY」	140名 青年部会3名 (鯖江アレックスシネマ)

(5) 税に関する情報発信事業・・・広報委員会

広報活動は、法人会活動を地域の皆様に理解していただくための最も効果的な手段であり、国税庁、税務署及び県税事務所などの税に関する情報や法人会の事業も含めて提供してきた。

ア 広報誌 NET の発行

年4回発行し、地域に親しまれる紙面づくりとなるよう取材と編集に取り組む。

【報告事項1】 令和3年度事業報告の件

《広報誌NETの発行状況》

発行月日	No.	発行部数	表紙・特集記事等
4月20日	154号	2,700部	表紙：五島万里代氏（モダン刺し子） 特別座談会「北陸新幹線敦賀開業と地域活性化のビジョン」
7月20日	155号	2,700部	表紙：井上典宣氏（花ハス栽培） 第9回定時総会の特集
10月20日	156号	2,700部	表紙：梶田屋光生氏（越前焼作家） 新しく着任された近藤新署長に聞く
1月20日	157号	2,800部	表紙：八木龍一氏（越前漆器塗装職人） 特集記事：税を考える週間 酒井教授特別講演会

イ ホームページによる広報

会員及び不特定多数の者に対する各種事業への参加案内や諸情報の提供。

ウ 南越税務連絡協議会機関紙「税を考える広場」による広報（2月1日発行）

関係7団体で組織し、発行する機関紙は、管轄内全世帯（約62,000世帯）に配付され、家族全員が目にする貴重な広報媒体。

エ 大蔵財務協会への記事提供（「税のしるべ」）

一般財団法人大蔵財務協会発行の「税のしるべ」に、本会の活動記事を随時提供。

オ 全法連への記事提供

青年部会の租税教室の記事を9月1日に提供し、全法連ホームページ「法人会リレーニュース」と広報誌「ほうじん秋号」に掲載。

カ 広告塔による納税意識高揚

鯖江市南公園に昭和60年に設置した広告塔（高さ約10mの三角柱）で行き交うドライバーや公園利用者に納税意識の高揚をPR。

(6) 税制・税務に関する調査研究並びに提言事業・・・税制委員会

令和4年度税制改正提言書は、会長及び副会長などによって次のとおり手渡した。

《税制改正提言活動状況》

月 日	提 言 先 等		
	行政機関等	首 長	議会議長等
11月25日	越前市	山田 賢一 市長	川崎 俊之 議長
11月30日	鯖江市	佐々木勝久 市長	石川 修 議長、佐々木一弥 副議長
11月18日	南越前町	岩倉 光弘 町長	秋田 重敏 議長
12月16日	越前町	青柳 良彦 町長	笠原 秀樹 議長
12月06日	池田町	杉本 博文 町長	飯田 拓見 議長

2 地域企業と地域社会の健全な発展目的事業（公益事業2）

(1) 地域企業の発展及び地域社会への貢献事業

予定していた講演会は、コロナ拡大防止の観点から相次いで見送ったが、コロナ拡大が弱まった11月の「税を考える週間記念協賛事業」の講演会は万全の態勢で実施した。実施に当たっては、学校関係、税務関係機関などにも広くPRするとともにYouTubeで同時配信を行った。

《講演会の開催状況》

月 日	講演会等名	内 容	出席（会場）
11月19日	「税を考える週間」記念協賛事業	講師：中央大学法科大学院教授 酒井克彦氏 演題：租税リテラシー教育の重要性	61名 YouTube 同時配信 (サバエ・シティーホテル)

【報告事項1】 令和3年度事業報告の件

(2) 健康経営プロジェクト・・・青年部会

日本の未来を担う子供たちのため、全青連の「法人会から日本を変える！」との決意表明の下で「財政健全化のための健康経営プロジェクト」に取り組んで国の財政健全化に貢献する。

(3) 社会貢献事業

ア 使用済切手回収運動・・・女性部会

海外医療への支援として12月8日にJOCsへ約2kg送付した。

3 共益事業

(1) 会員のための福利厚生事業・・・厚生委員会

福利厚生制度は、会員企業の安定した繁栄を担保するため、保険協力3社を通じて各企業が抱える様々なリスクを保障する。健康管理事業の人間ドックは、福井県済生会病院と福井大学医学部付属病院において法人会員及びその従業員を限定対象に5%割引料金で利用紹介した。

《福利厚生制度の加入状況 令和4年3月末》

* 経営者大型総合保障制度（大同生命保険(株)）

* ビジネスガード（AIG損害保険(株)） 加入会員企業数 234社

* がん保険制度（アフラック） 加入会員企業数 295社

《健康管理事業》

○ 福井県済生会病院（PET ドッグ検診） ○ 福井大学医学部付属病院（専門ドッグ検診）

3年度利用 20名（前年度21名） 3年度利用 6名（前年度1名）

(2) 会員増強事業・・・組織委員会

令和4年3月末現在の会員数は2,056社（加入率57.4%）と、前年同期比65社減少した。

《会員の状況 令和4年3月末現在》

単位：社、%

所管法人数	会員数(3年3月末)	入会数	脱会等数	会員数(4年3月末)	加入率
	賛助 9	賛助 1		賛助 10	
3,582	2,113	8	65	2,056	57.4

4 その他会議の開催状況

- （公財）全国法人会総連合関係 2回 9名
- 北陸法人会連合会関係 3回 1名（うち2回は中止）
- （公社）福井県法人会連合会関係 10回 53名
- 本会関係 15回 1,451名（うち3回は書面）

【加入団体 南越税務連絡協議会での活動】

3月16日 役員会（持回り開催）

9月01日 正副会長会議（開催延期）

11月05日 正副会長会議

2月01日 第28号「税を考える広場」発行

【（公社）福井県法人会連合会での活動】

○ 法人会カップ 2021U-12 福井県少年サッカー選手権大会

開催月日： 7月3日、4日、10日、11日

会場： 武生特殊鋼材ドリームサッカー場、日東シンコースタジアム丸岡サッカー場

結果： 優勝 大虫FC 準優勝 立待FC